

第1回 ショートハンドチャレンジ 1・2・3

帆走指示書 (Sailing Instruction)

- 【主催】 公益財団法人 日本セーリング連盟 加盟団体 外洋三崎
【協力】 公益財団法人 日本セーリング連盟 特別加盟団体 逗子マリーナヨットクラブ
【開催日】 2016年6月6月11日(土)
【開催海域】 小網代沖から城ヶ島沖南西ブイ周辺海域
【運営】 2016 ショートハンドチャレンジ1・2・3 実行委員会

1 規則

- 1.1 セーリング競技規則 2013-2016 (以下 RRS) に定義された「規則」を適用する。
- 1.2 適用規則より本レースの「レース公示」、「帆走指示書」により修正された事項は除外する。「レース公示」と「帆走指示書」に矛盾が生じた場合は「帆走指示書」が優先される。

2 競技者への通告

- 2.1 競技者への通告は、レース本部前に設置された公式掲示板に掲示する。
- 2.2 海上における通告は、本部船より口頭で行われる。

3 帆走指示書の変更

- 3.1 帆走指示書の変更は、レース当日の08:30までに掲示する。ただし、レース日程の変更は、レース前日の21:00までに掲示する。

4 陸上で発する信号

レース運営に関する信号は陸上では発しない。

5 レース日程

- 5.1 レースの日程は2016年6月11日(土)とする。レース予備日は設けない。
- 5.2 レースは全クラス一斉スタートとし、予告信号の予定時刻は、10:20である。

6 乗員登録および出艇申告

- 6.1 乗員登録書(兼出艇申告書)の変更がある場合は、2015年6月11日(土)08:30までにレース本部宛書面にて提出すること。(FAXでも可:050-3737-2919)
- 6.2 出艇申告し、スタートしない艇、又、レースを棄権した艇は速やかにレース本部へ報告すること。

7 部門及びクラス分け

- 7.1 部門はPHRF部門のみとし、クラス分けは公式HP上に掲載するエントリーリストで行う。
- 7.2 クラス毎に色が異なるクラス識別フラッグを配布する。

8 レース旗

- 8.1 参加艇は、レース旗として、艇後部の目立つ位置にクラス識別フラッグを掲揚すること。

9 海上確認

- 9.1 レース当日の10:15までに、L旗を掲揚した本部船を右側に見て近くを通過し、艇名・乗員数を告げ、個人用ライフジャケット着用の確認を受けること。チェックインは参加艇とレース委員会側との安全確保のため

めの重要確認事項であるため、チェックインを履行しない艇はペナルティを課されることがある。確認を受けること。確認を受けた艇は了解の合図を適宜送ること。

10 コース

- 10.1 小網代湾口スタート→網代崎灯浮標（左に見て）→城ヶ島南西沖灯浮標(反時計回航)→網代崎灯浮標フィニッシュ（約 15NM）とする。

11 スタート

- 11.1 レースは規則 26 を用いて、予告信号をスタート信号の 10 分前とし、スタートさせる。

スタート信号までの時間(分)	視覚信号	音響信号	意味
10	W旗	1 声	予告信号
4	P 旗	1 声	準備信号
1	P 旗降下	長音 1 声	1 分
0	W旗降下	1 声	スタート信号

- 11.2 スタート・ラインは、本部船のオレンジ旗を掲揚したマストとアウトサイドリミットマーク（黄色円筒形ブイ）の間とする。
- 11.3 スタート信号後 30 分より後にスタートする艇は審問なしに DNS と記録される。これは規則 A4 を変更している。

12 フィニッシュ

- 12.1 フィニッシュ・ラインは青色旗を掲揚した本部船のオレンジ旗を掲揚したマストと網代崎灯浮標との間とする。

13 ペナルティーの方式

- 13.1 規則 29.1 に関わる規則違反については、OCS に代えて 5 % のタイムペナルティーを適用する。その場合にはレース委員会からの抗議を必要としない。これは規則 A4 を変更している。
- 13.2 その他、規則第 2 章以外の軽微な規則違反に対し、プロテスト委員会の裁量により失格に代わる罰則として裁量ペナルティーを課すことがある。

14 タイムリミット

- 14.1 タイムリミットは 2015 年 6 月 11 日（土）14 : 30 とする。
- 14.2 棄権や失格以外にタイムリミット以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに「フィニッシュしなかった(DNF)」と記録される。これは規則 35、A4 及び A5 を変更している。

15 抗議と救済要求

- 15.1 抗議は規則 61 に従い自身の抗議の意思を当該艇に対し通告するとともに、フィニッシュ後 1 時間以内に所定の抗議書をもってレース本部へ報告しなければならない。
- 15.2 抗議書の提出は電子メールまたは FAX に代えることが出来る。送信先はレース本部でなければならない。但し、抗議書の原本は審問の際に提出しなければならない。
- 15.3 プロテスト委員会が決定した審問日時は公式掲示板に掲示される。双方の艇へ電話連絡も行う。
- 15.4 レース中に発生したケースに対し、抗議の意思がある場合には相手艇に抗議の意思を伝え、同時に見やすいところに赤色旗を掲げなければならない。赤色旗はレース中でなくなるまで掲揚しておかなければならない。また、フィニッシュ後できるだけ速やかに本部艇にその旨を伝えなければならない。これは RRS 61.1 を変更している。

- 15.5 抗議の締め切り時間は自艇のフィニッシュ時刻の1時間後とする。
- 15.6 抗議に関わる事項は抗議締め切り時刻後1時間以内に公式掲示板により通告する。また各艇へ電話で連絡するがこれはサービスである。
- 15.7 指示 18、19 に対する違反は艇による抗議の根拠とはならない。これは規則 60.1(a)を変更している。

16 得点

- 16.1 成績算出には PHRF 方式を用い、Time On Time 算出を採用する。
- 16.2 成績算出における計算式は以下の通りとし、CTの少ない者を上位とする。

$$CT(\text{修正時間}) = ET(\text{所要秒}) \times TCF(\text{ハンディキャップ})$$
- 16.3 TCF は SHC123 バージョンの数値を用いる。

17 安全規定

- 17.1 レース中、乗員はライフジャケットを着用すること。
- 17.2 船検に基づいた備品および携帯電話 1 台またはハンディー-VHF トランシーバー搭載していること。

18 その他規定

- 19.1 オートヘルムなどオートパイロットシステム及び電動ウインチはレース中（準備信号～フィニッシュ）の使用を禁止する。

19 運営艇

- 19.1 公式運営艇は以下を予定し、外洋三崎大クラブ旗を掲揚する。

公式運営艇 1 (本部艇)	艇種： モーターボート <P e r s u i t 3 0 > 艇名： トレッキー カラー： 白
公式運営艇 2	艇種： インフレーターボート 艇名： プリンセスⅡ (油壺ヨットハーバー) カラー： グレー
公式運営艇 3	艇種： モーターボート <Y S 2 1 C C > 艇名： 京急 R 5 (京急油壺マリーナ) カラー： 白

20 レース本部

- 20.1 レース本部は次のとおりに設置する。
- 場所： 京急マリーナ (神奈川県三浦市三崎町諸磯 1574)
- 設置期間： 2016年6月11日(土) 08:00~15:00
- 電話番号： 090-2217-1646、080-3533-1521(予備1)、
090-3248-4455(予備2)、090-6517-3299(予備3)
- FAX： 050-3737-2919
- E-mail： shc123@misaki-ocean.jp

21 賞

- 以下の該当艇を表彰する。
- 各部門のファーストホーム
- 各部門の1~3位

各クラスの1～3位（クラス分けした場合）

22 責任の否認

22.1 規則4に基づき、全ての艇、参加者は自分自身の責任において参加する。

主催団体はレースの前後、期間中に生じた物的損傷または身体傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

－以上－

SHC123 実行委員会